





“挑戦と成長”

第6期は売上高1,522億円、410店舗へ。
北関東地方への進出に向けて、
東北の基盤をさらに強固に。

代表取締役社長 西郷辰弘

第5期におきましては、前期同様に原材料価格が上昇する中、急速な円安も加わり、物価を押し上げ、電気代は高止まりを続けております。新型コロナウイルス感染症もピークを過ぎ5類へ移行しましたが、個人消費や経済活動の停滞は変わらず、厳しい状況が続いております。

そのような中で当社は売上高1,422億円、営業利益52億円、親会社株主に帰属する当期純利益は38億円と過去最高の増収増益を達成いたしました。施策面では、ローコストオペレーションとESLP(Everyday Same Low Price)を掲げるとともに、薬王堂公式アプリユーザーの拡大を推し進めています。アプリ会員数は32万人を突破し、売り上げ全体の10%程度を占めるまで伸長しました。クイックコマースの分野では、モバイルオーダーアプリ「Pick and」で商品をお客様のご自宅までお届けするラストワンマイル配送サービスを端緒に、「Wolt」に代表されるデリバリーサービスプラットフォームへの出店拡充を進めました。さらに「店頭での健康チェックとそのデータ活用」の実装に向け、健康チェックサービスを推進し、2022年4月以降、月間実施者数が連続で4,000人を超え、累計での実施者は11万人を達成しました。

第6期の業績見通しは売上高1,522億円、営業利益57億円、親会社株主に帰属する当期純利益40億円と、更なる増収増益を目指します。これまで以上の新規出店と店舗改装を実施し、ドミナント戦略と既存店強化を推進してまいります。

今後の北関東地方への進出に向け、当社の更なる成長が求められます。そのためには、挑戦することの重要性を従業

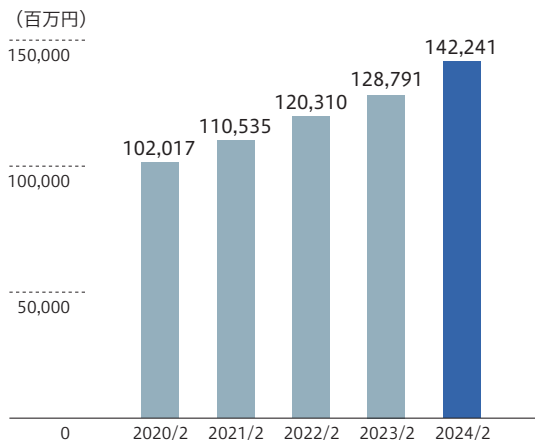
員各々が理解し、個々の能力のスキルアップや組織マネジメントスキルを高めることができる機会が必要です。そのための機会は惜しみなく提供していきます。従業員の自律性とエンゲージメントを高めるためにも、当社の成長を支える人材への投資を引き続き図ってまいります。会社が持続的に成長し続けていくためには、「個の成長」が重要であり、そこに自律性を掛け合わせることでチームや組織全体の強化にもつながり、結果として企業価値の向上につながると考えております。当社はこれからも「個と組織の成長」を目標に掲げ、更なる事業成長の躍進に向けて挑戦してまいります。

東北地方は世界でも稀にみる「課題先進地域」です。そこで暮らすお客様の健康に対するニーズは日に日に増すばかりです。この多くの課題に対応できた企業こそが、これからの社会を走り抜く会社であると考え、従業員一人ひとりが課題に真剣に向き合い考え実践してまいります。そして、その経験が従業員・組織の挑戦と成長へつながることと確信しております。今後も私たち薬王堂は「東北から世界の健康をデザインする」ことに挑戦し続けます。

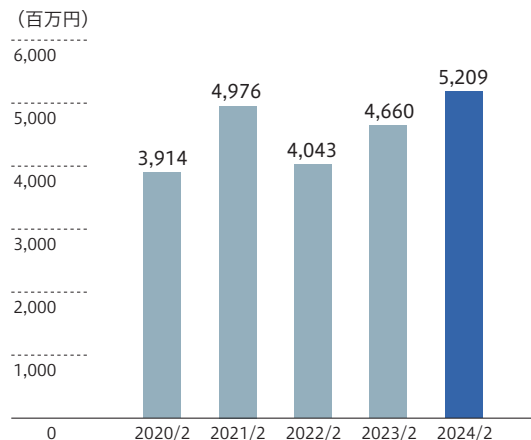
今期も先行きが不透明な状況が続きますが、当社の使命である「地域の皆様の美と健康と豊かな暮らしに貢献する」ことをモットーに、お客様・従業員の安全を考慮しながら、コンプライアンス遵守も踏まえた経営を継続してまいります。

今後もより一層の成長と継続的な企業価値の向上に取り組んでまいりますので、株主の皆様におかれましては、引き続きご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

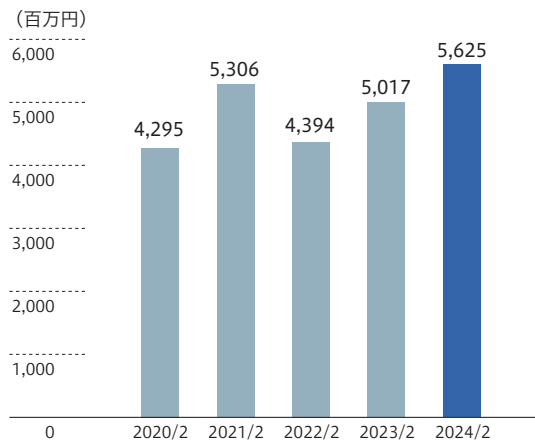
売上高



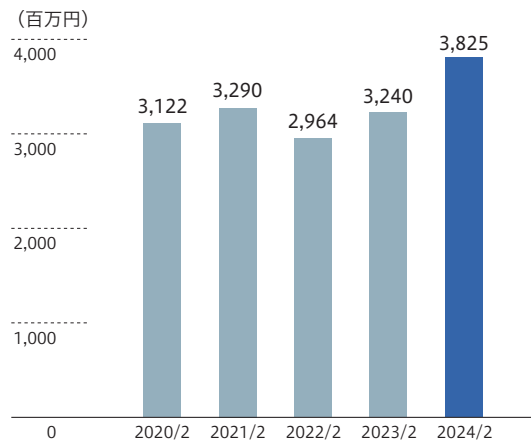
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



- 当社は、2019年9月2日に単独株式移転により株式会社薬王堂の完全親会社として設立され、2020年2月期連結会計年度(2019年3月1日から2020年2月29日まで)の連結財務諸表は、単独株式移転により完全子会社となった株式会社薬王堂の連結財務諸表を引き継いで作成しております。
- 2023年2月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しております。

薬王堂のドミナント戦略

ドラッグストアの商圈人口は10,000人以上と言われる中、より身近でより多くの店舗を展開できる小商圈(人口7,000人)での出店戦略(ドミナント戦略)をとっています。今後も同戦略を進めながら地域でのシェアの拡大を図っていきます。

新規出店

9 店舗

※退店3店舗

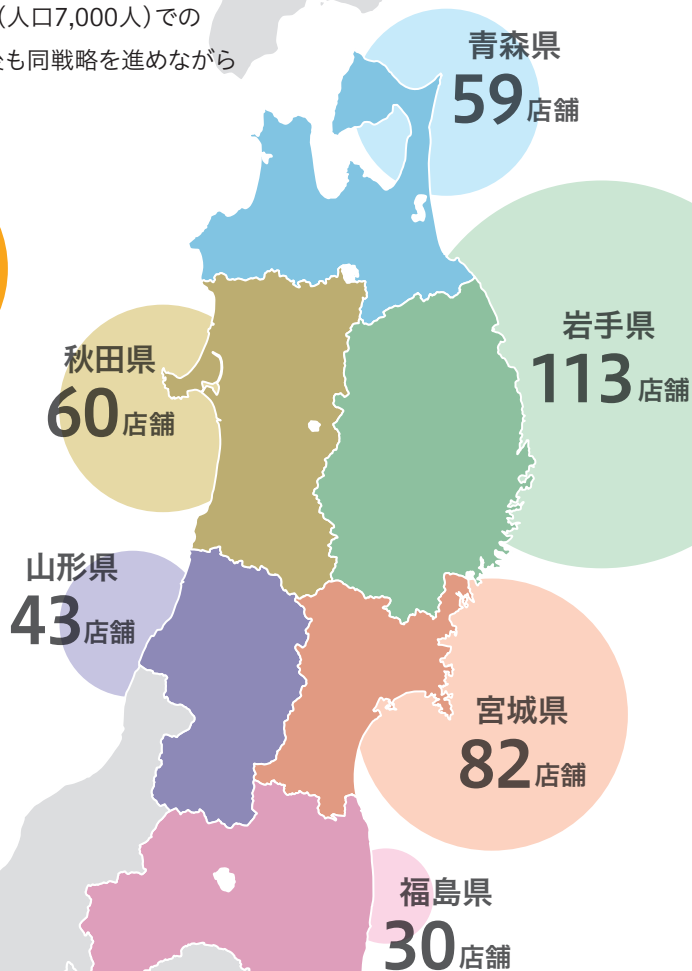
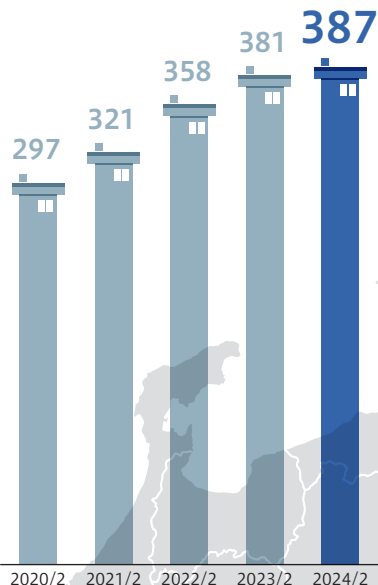
店舗数

387 店舗

2024年2月末

うち調剤併設型3店舗、
調剤専門薬局2店舗

● 店舗数の推移



1. 事業会社の体制変更

Q1. 今後、薬王堂をどんな会社にしていきたいか

— 薬王堂社員と、薬王堂の取り組みに共感してくれた社外の方々と一緒に、「ドラッグストア」に縛られない多くの分野で課題を見つけて機能していく会社を目指します。

これまでも様々なプロジェクトを立ち上げ社外の方々と共に課題解決に協働する中で、社員が大いに刺激を受け成長してきたと感じます。それと同時に、薬王堂の目指す方向性に共感し「薬王堂と一緒に働きたい」という新たな人材も集まり始めています。今後はさらに薬王堂の取り組みが多くの方々に刺激を与えるような会社にしていきたいです。「ドラッグストア」や「健康」という枠組みにこだわるのではなく、同じ想いを持った仲間たちと様々な課題解決に挑戦し、互いに成長していく過程で結果として世の中への貢献につながる、そんな会社を目指します。

Q2. 社長として今後注力しようと考えていること

— 社員と会社がどこまで成長していけるか、これからは「成長」に注力していきます。小売業だからこそ薬王堂は店舗・会社で学んだことをすぐに実践に活かすことが可能です。実践できる場を多く提供したことで、社員の学習スピードも加速していると感じています。

今後、実践の場や刺激的なプロジェクトの場をさらに提供していくので、うまく活用して個人もチームも成長して欲しいと思います。どんな環境下でも学ぶ意欲と努力・吸収する能力があれば挑戦と成長には限りがないと思います。自分次第でポテンシャルはいくらでも伸ばしていけるので、個人の“挑戦と成長”には制限を設けずに、どんどん挑戦して欲しいと思います。

代表取締役 社長執行役員
西郷孝一



Q1. 今後、薬王堂をどんな会社にしていきたいか

— 「東北が最先端をいき、日本の未来をつくる」を体現できる会社になりたいです。東北には東北の魅力がありますが、東京などの大都市と比べてときに多くのコンテンツで先を越されているような感覚を持つことがあります。薬王堂は地域に根差した企業として、東北の人々に支えられてきた企業ですが、地域の皆様の美と健康と豊かな暮らしを支えるという理念と併せて、東北の様々な課題に対して挑戦し続ける会社にしていきたいと考えています。

新たなことへの連続的なチャレンジの先で5～10年後に東北が最先端をいき、日本の未来をつくる。これを実現させることができると信じています。

Q2. 副社長として今後注力しようと考えていること

— 人材の成長を促すことが会社のカギと考えています。従業員の成長を加速させていく中でも、教育の再構築は大きな意味を持つと思います。

店舗従業員の方々には仕事の基本や仕組みをより理解できる機会、ストアチーフ以上の方々には更なるキャリアアップや目指したい成長に合わせた教育を階層別に提供できることを目指し、誰にとっても成長の機会がつかめる会社にしていきたいと考えています。“挑戦と成長”を体現する社員も既に現れ始めているので、このような人材が評価され、より情熱をもって能力を開花させられる体制を支えていきたいと思っています。

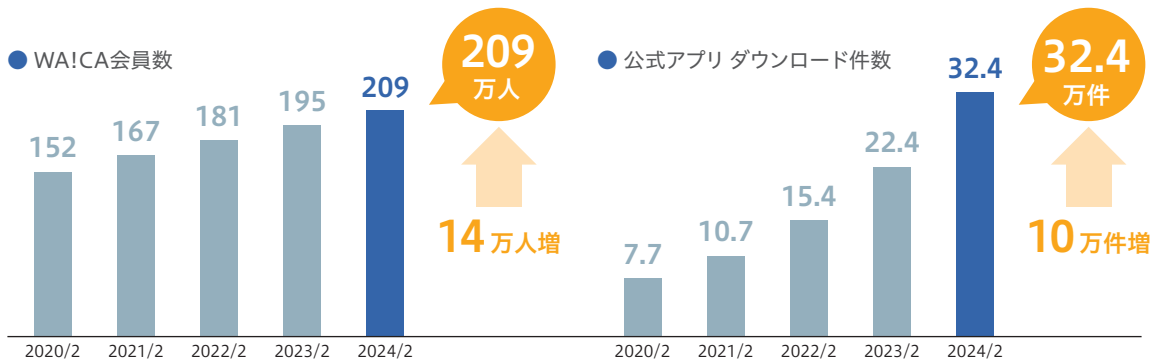
取締役 副社長執行役員
西郷泰広



2. 薬王堂公式アプリの拡大



公式アプリのダウンロード数拡大に取り組み、累計のダウンロード件数は32万4千件を突破しました。「WA!CA」会員数に対して、アプリ会員比率は15.5%に達し、アプリ会員数が売り上げ全体の10%程度を占めるまで伸長しました。店舗やチラシの検索、WA!CA電子マネー決済のほか、特にお客様に合ったお得なクーポンが配信される機能が好評となり、ダウンロード数を伸ばしました。特に、対象商品の購入に応じてWA!CAポイントが付与されるポイントクーポンや、対象の商品やお会計金額から〇〇%OFFといった割引クーポンなど、アプリクーポンの充実化を推し進めてまいりました。また、公式アプリを起点として、肌診断、健康チェックアプリ「KOMPASU」やアプリ注文サービス「P!ck and」など、様々なサービスとの連携で利便性を図ってまいりました。ポイントカード「WA!CA」全体会員数も、前期末より会員数を伸ばし209万人まで伸長しました。引き続き、WA!CA電子マネー決済に加えて、買い物金額に応じてランクアップする会員ステージ制や、60歳以上限定の「おでかけカード」なども好評いただいております。



3. プライベートブランド ALL WAY BASIC

● <https://allwaybasic.jp/>



東北に住む皆様のくらしをやさしく、こちよく、支えるために生まれた薬王堂のプライベートブランド「ALL WAY BASIC(AWB)」。

第5期は新規242SKU、リニューアル483SKUを発売しました。市場が成長している冷凍食品や東北産にこだわったマスク等を発売しました。

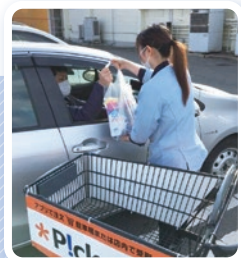


パッケージは売り場での統一感を意識したデザインに刷新し、日用品部門では家庭内使用量が多い「キッチンポリ袋」「使い捨て手袋」「ラップ」「アルミホイル」、食品部門では、「納豆」「牛乳」「500mlペットボトル飲料」等パッケージをリニューアル発売しました。また、新商品として「梅干し」「ミックスナッツ」「冷凍餃子」、衛生部門では、新型コロナウイルス感染症の流行が終息し様々な規制が緩和されましたが、マスクについてはまだまだニーズはあり、機能性のみならずファッション性も重視した**立体バイカラーマスク**を発売。東北に製造工場があることから、カラーのイメージも東北のスポットをイメージし、**MADE IN 東北**を打ち出しました。マスクを通して東北の良さを実感していただきたい想いが詰まった商品です。

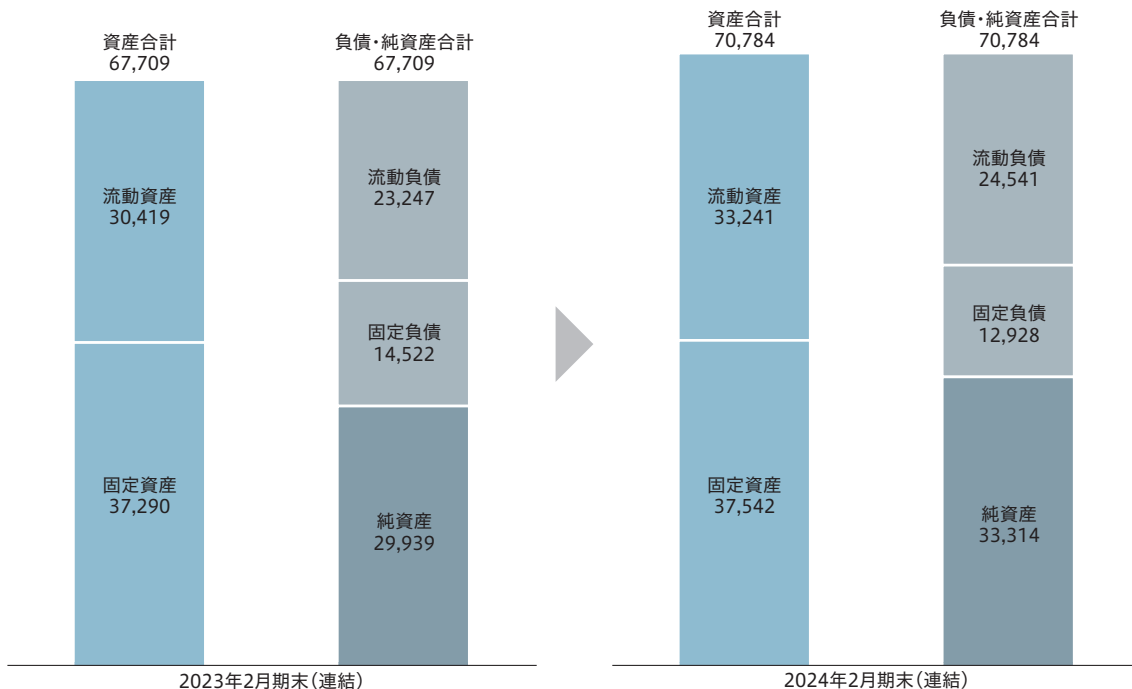
4. クイックコマースへの対応

ECアプリ「P!ck and」にて購入した商品を店頭で受け取れるサービスに加え、河北新報やWoltの配達網を活用した、お客様のご自宅まで商品をお届けする**ラストワンマイル**配送サービスの対象エリアを拡大しました。2023年9月に**八戸・弘前エリア**、2023年11月に**大崎エリア**、2024年3月には**秋田市エリア**でサービスを開始し、出店数は計35店舗となりました。食料品や日用品といった生活必需品を、注文から最短1時間でお届けするクイックコマースにも注力し、感染防止のためや車をお持ちでない等、店舗への来店が難しいお客様にも使いやすいことからご好評をいただいています。東北地方は、人口減少やスーパーマーケットの撤退など社会課題に直面する「**課題先進地域**」でもあり、地方におけるラストワンマイル普及実現により、生活者の利便性を確保するためのモデルケースとなることを目指します。

また、更なる取り扱いアイテム拡大に向けて、システムの整備・連携にも着手しています。全店でのサービス拡大も視野に入れ、今後もお客様のお買い物体験がより快適になるサービスを提供してまいります。



● 財政状態の概要 (百万円)



● 財政状態のポイント

流動資産

流動資産は332億4千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ28億2千2百万円増加しました。主な増加要因は、商品が30億4千2百万円増加したことがあげられます。

固定資産

固定資産は375億4千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億5千2百万円増加しました。主な増加要因は、改装等によるリース資産の増加で、有形固定資産が1億7千7百万円増加したことがあげられます。

流動負債

流動負債は245億4千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億9千4百万円増加しました。主な増加要因は、買掛金が17億7百万円増加したことがあげられます。

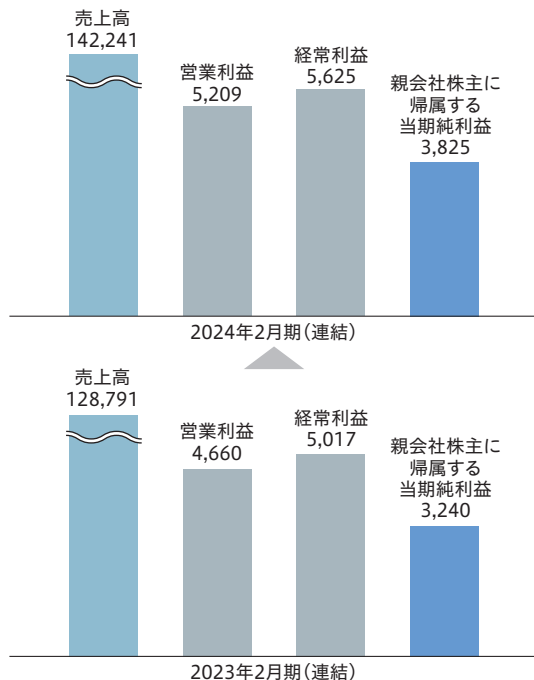
固定負債

固定負債は129億2千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億9千4百万円減少しました。主な減少要因は、長期借入金の返済により23億4千3百万円減少したことがあげられます。

純資産

純資産合計は、333億1千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ33億7千4百万円の増加となりました。主な増加要因は、利益剰余金が33億3千5百万円増加したことがあげられます。

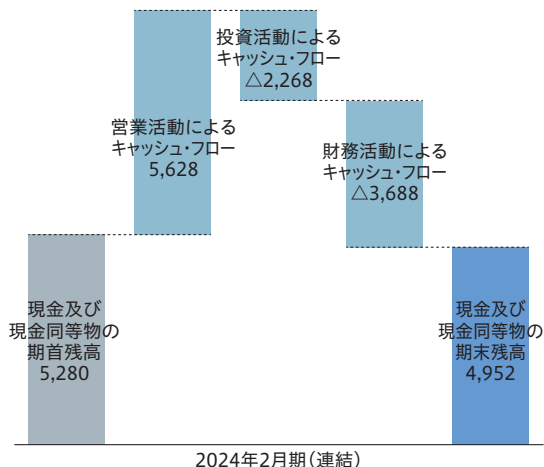
● 経営成績の概要 (百万円)



● 経営成績のポイント

販売価格や品揃えの強化を図り、来店客数及び買上点数の増加に取り組むとともに、小商圏ドミナント出店を推進し、合計9店舗を新規出店し、3店舗を退店しました。以上の結果、売上高は1,422億4千1百万円、営業利益は52億9百万円、経常利益は56億2千5百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は38億2千5百万円となりました。

● キャッシュ・フローの概要 (百万円)



● キャッシュ・フローのポイント

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は56億2千8百万円となりました。これは、税金等調整前当期純利益が52億9千2百万円、減価償却費が28億1千9百万円あったものの、棚卸資産の増加が30億4千2百万円あったこと等によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フロー

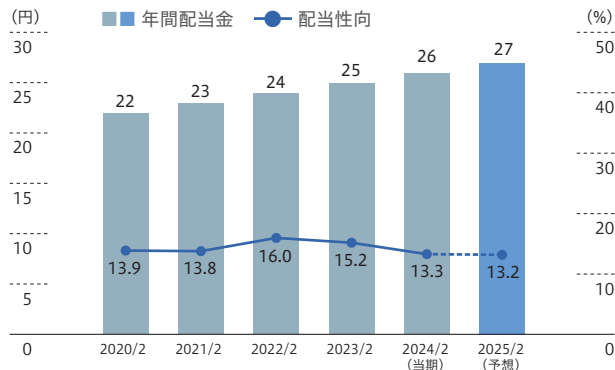
投資活動の結果使用した資金は22億6千8百万円となりました。これは、主に新規出店に伴う有形固定資産の取得による支出が20億4千3百万円あったこと等によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は36億8千8百万円となりました。これは、長期借入金の返済による支出が29億4千3百万円あったことや配当金の支払額が4億8千9百万円あったこと等によるものです。

配当実績と予想

当期の配当金は、前期から1円の増配となる1株当たり26円とさせていただきます。また、今期(2025年2月期)の配当金につきましては、1株当たり年間27円を予定しております。



株主優待制度

対象の株主様に対して、保有する株式数に応じて以下のとおり、薬王堂で利用できる当グループプリペイドカード「WA!CA」の電子マネーもしくは東北地方の特産品(お米)のいずれかを贈呈いたします。

薬王堂で利用できるプリペイドカード「WA!CA」

保有株式数	優待内容
100株以上 1,000株未満	2,000円分
1,000株以上 3,000株未満	3,000円分
3,000株以上	5,000円分



初めて「WA!CA」をお持ちになる株主様

予め相当分の電子マネー額をチャージした「WA!CA」を送付

既に「WA!CA」をお持ちいただいている株主様

ご指定の「WA!CA」に相当分の電子マネー額をチャージ

東北地方の特産品(お米)

保有株式数	優待内容
100株以上 1,000株未満	3kg
1,000株以上 3,000株未満	5kg
3,000株以上	10kg

下記の銘柄よりいずれか1つをお選びいただけます。



岩手県産「銀河のしずく」 宮城県産「ひとめぼれ」 青森県産「はれわたari」 秋田県産「あきたこまち」 山形県産「つや姫」 福島県産「こしひかり」

※お米のパッケージは写真と異なる場合がございます。

※東北地方の特産品の内容については、次回以降変更する場合がございます。

株主優待の対象

2024年2月末日現在の株主名簿に記載された1単元(100株)以上保有されている株主様を対象に実施

贈呈時期及び方法

チャージ済み「WA!CA」は8月中旬、お米は11月中旬の発送を予定

お手持ちの「WA!CA」へのチャージは7/19(金)を予定

● 会社概要 (2024年2月29日現在)

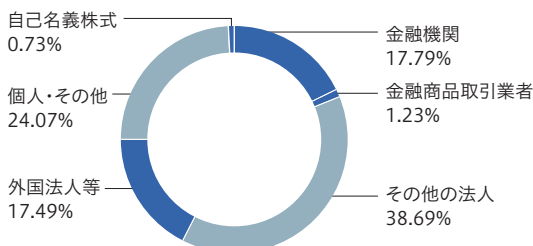
社名	株式会社薬王堂ホールディングス
所在地	岩手県盛岡市盛岡駅西通二丁目9番1号
代表者	代表取締役社長 西郷辰弘
設立	2019年9月2日
資本金	100百万円
売上高	142,241百万円
店舗数	387店舗
従業員	社員978名、臨時社員2,621名(8時間換算)
事業内容	ドラッグストアチェーンの経営ならびに調剤薬局経営

● 役員 (2024年5月23日現在)

代表取締役 社長	西郷 辰弘
代表取締役 副社長	西郷 喜代子
常務取締役 コンプライアンス統括部長	小笠原 康浩
常務取締役	西郷 孝一
社外取締役	小原 公一
社外取締役	斎藤 毅文
常勤監査等委員	坂本 篤
社外監査等委員	鎌田 英樹
社外監査等委員	片野 圭二
社外監査等委員	滝浦 のぞみ

● 株式情報 (2024年2月29日現在)

発行可能株式総数	61,200,000株
発行済株式の総数	19,740,219株 (自己株式数145,229株)
株主数	11,898名



● 大株主 (2024年2月29日現在)

株主名	持株数(株)	所有比率(%)
株式会社TKコーポレーション	7,584,000	38.70%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,551,200	7.92%
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE FIDELITY FUNDS	1,232,200	6.29%
株式会社日本カストディ銀行(信託口、信託口4、信託A口、年金特金口、年金信託口)	1,132,100	5.78%
薬王堂ホールディングス従業員持株会	674,356	3.44%
BNP PARIBAS LUXEMBOURG/25/JASDEC/FIM/LUXEMBOURG FUNDS/UCITS ASSETS	555,000	2.83%
西郷 喜代子	398,000	2.03%
上遠野 俊一	238,900	1.22%
第一生命保険株式会社	216,000	1.10%
伊藤 昭	210,000	1.07%

● 株主メモ

事業年度	毎年3月1日から毎年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月
利益配当金	毎年2月末日
受領株主確定日	その他必要がある場合は予め公告し基準日を定めます。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 (郵送先)〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 電話:0120-232-711(通話料無料)
公告の方法	電子公告の方法により行います。 但し、やむを得ない事由により電子公告ができないときは、日本経済新聞に掲載します。

【ご注意】

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



株式会社薬王堂ホールディングス

<https://www.yakuodo-hd.co.jp>

〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通二丁目9番1号

電話:019-621-5027



ミックス
紙 | 責任ある森林
管理を支えています

